

自衛隊殉職隊員千葉県追悼式

令和三年十一月十三日、陸上自衛隊下志津駐屯地において、自衛隊殉職隊員千葉県追悼式が厳粛に執り行われ、千葉県隊友会長として隊友会を代表して参列いたしました。下志津駐屯地の「鎮の庭」には、殉職された陸・海・空の自衛隊員が祀られております。


今年は、新たに祀られた御霊が加わり、五十九柱となられた御霊に対し、追悼の誠を捧げました。

千葉県隊友会は、毎年下志津駐屯地の慰霊碑（鎮の庭）を追悼式前に清掃を実施しております。昨年から土曜日に実施することにより、定年後の若手会員に多く参加していただいております。若手との親睦の場としても大変有意義な時間になっております。

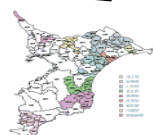
我が国の平和と国民の生命を守り、崇高で困難な任務にまい進される中、志半ばにしてその職に殉じられた御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

祝 秋の叙勲者

- 【瑞宝重光章】 火箱 芳文 (松戸)
- 【瑞宝中綬章】 入澤 滋 (柏)
- 【瑞宝小綬章】 池上 均 (野田)
- 石川 由喜夫 (松戸)
- 菊池 悦男 (柏)
- 櫻井 大作 (柏)
- 塚本 修由 (山武東金)
- 永井 博 (市川)
- 中田 高芳 (千葉若葉)
- 古河 覚 (長正)
- 山本 博秋 (鎌ヶ谷)
- 【旭日双光章】 阿部 治夫 (四街道)
- 【瑞宝双光章】 大竹 明 (木更津)
- 佐藤 智 (柏)
- 高濱 正 (安房)
- 田辺 孝次 (館山)
- 長谷川 宏 (柏)
- 吉田 広美 (八街)
- 箭竹 貴志 (船橋)
- 【瑞宝単光章】 泉谷 純逸 (千葉美浜)
- 船水 順 (佐倉)



隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局
事務所開所時間
月・水・金
10:00~15:00

§ 会 長 §



会 長 神原 誠司

『活動再開』

千葉県隊友会会員及び特別会員の皆さま、明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、令和二年春に感染拡大し、一年半に亘り隊友会の活動が制限されて来ました。昨年九月末に緊急事態宣言が解除され、少し落ち着きを見せています。

しかしながら、デルタ株による感染拡大が世界中で長期化しています。国内においても第六波が来るとも言われており、予断を許さない状況です。最新の注意を払いながら、活動を再開させたいと考えております。

丁度、感染が急激に減少した昨年十月二日(日)千葉県護国神社において、三十名を超える隊友会のメンバーと(県郷友連盟と共同で)清掃などの奉仕活動に汗を流しました。

十月三十日(土)下志津駐屯地において、四街道支部他約五十名の隊友会のメンバーで自衛隊殉職隊員千葉県追悼式会場の清掃活動を実施しました(細部は、千葉県隊友会ホームページを)

覧ください。両日ともに快晴に恵まれ、お互いの近況を語り合い、楽しいひと時を過ごすことができました。会員の皆さんにお会いできて、ホッとした気持ちになりました。ようやく光が見えてきたと感じました。

十月五日(火)自衛官OBの防災アドバイザーの検討について、千葉県庁の新宅災害・危機対策監(陸自OB)の説明を受けました。まだまだこれからの検討になるかと思えます。防衛省・自衛隊での経験者の能力が災害対応力の向上に寄与できるものと思えます。県民と自衛隊との架け橋になればと考えているところです。

隊友会(千葉県だけでなく全国的に)活動の問題点は、入会者の減少と会員の活動の停滞化があります。二つの問題点は、相互に関係していると思えます(ここ数年、自衛官の定年延長に伴い、一時的に定年者が減少した面がありました)。

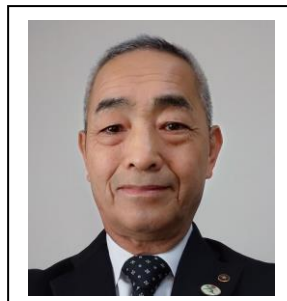
「人生百年時代」、退職・退官からの人生が永くなりました。隊友会は、防衛省・自衛隊に勤務した皆さんの退職後の「交流の場」としての重要性が更に高まっていると思えます。

隊友会の活動においては、奉仕活動も含めていろいろな活動をしていくこと、自衛隊時代の経験を活かせる活動を通じて、交流の場を深めていくことが大切です。「やってよかった。」「参加して楽しかった。」と言った会員の皆さんの声が聞こえるように、魅力化を図っていくことが必要だと思えます。

一方で、現役の部隊・隊員の皆さんに隊友会の活動を正しく理解していく機会を増やしていく「普及教育」も継続していく必要があります。更に、会員の皆さんのいろんな意見を取り入れていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらにはなりますが、令和四年「活動再開」です。

§ 副会長 §



副会長 青木 清治 (元空自)

千葉県隊友会会員の皆さま、明けましておめでとうございます。新春を晴々しい気持ちで迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍が継続し、各種行事が取り止めになる中、日本で五十七年振りにオリンピック・パラリンピックを開催し、成功裡に終了できたことは、世界に誇れることでしよう。

今年、新型コロナウイルスの感染防止水際対策等を徹底し、第六波の発生を防ぎ、コロナ禍を収め、インフルエンザ並みの扱いで済むようにして貰いたいものです。そして、今年こそ千葉県隊友会総会懇親会がコロナ禍以前のとおり開催されることを期待してやみません。また、千葉県隊友会

§ 理事役 §



理事役 永岡 雅史 (元陸自)

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願っています。会勢拡大施策の現状について述べさせていただきます。

平成二十七年度から隊友会本部計画で会勢拡大施策を県内各基地・駐屯地ごと入会促進会員を指定して実施してきましたが、令和二年一月からの定年延長のため、退職隊員の減少と新型コロナウイルス感染症の影響で、退職予定隊員との面談接触が困難となり、入会者が半減いたしました。

千葉県隊友会の会員数は、平成八年の約四千八百名をピークに、平成二十三年の公益社団法人化に際し実施した「隊友会活動に関するアン

ケート調査」により、約四千七百名から約三千四百名に激減しました。その後、高齢化に伴い会員数の減少が続き、令和元年度末には三千名を割り込み、令和二年度末には約二千七百五十名となつてしまいました。定年延長は、令和四年一月からの二・三曹で終わる予定で、令和五年度からは平成三十年度の約一万四千名の退職予定者に戻る予定です。

新型コロナウイルス感染症もワクチン接種と治療薬の開発普及で、終息の出口が見えてきましたので、以前の勧誘活動が再開できるのではと思料いたします。このためには、現職隊員に隊友会の存在意義を理解していただき、退職については、隊友会への入会が当たり前である環境を醸成する必要があります。

その一つとして、各基地・駐屯地等の行事に積極的に参加し、隊友活動の見える化とPRに努め、入会をするメリットだけでなく、隊友会活動を通じ、社会貢献に寄与することを退職後のライフスタイルとして提供できる組織に変貌する必要があるのではないのでしょうか？

隊友会本部への提言として、退職隊員の隊友会への入会の義務化と年金受給年齢の六十五歳までの年会費未納者の身分保障（新聞等のサブス停止）の二つをあげます。

おわりに、入会促進会員及び支部長並びに会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、会勢拡大施策へのご協力をお願い申し上げます。

後期支部長等会議および
会費・協力金のお知らせ

◇理事役会・後期支部長会議
三月三日（木）十三時
千葉市民会館三階会議室

◇令和四年度会費（三千円）
年度払いの会員皆様に会費振込用紙を同封いたします。

◇令和四年度の会運営協力金（三千円）
終身会員皆様に協力金寄付の振込用紙を同封いたします。
（事務局長）

ご協力
お願いします

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042
千葉市中央区椿森1丁目26-9
コンラッドビル4階
電話：043-306-2095
FAX：043-306-2096
メール：
chibataiyuu@engel.ocn.ne.jp
ホームページ：
http://www.chibataiyuu.com/

◆習志野支部◆

習志野支部が所在する習志野市は、千葉市と船橋市に挟まれた人口約十七万人の小さな町である。習志野市というと、陸自習志野駐屯地が所在する町とよく誤解されるが、実は違うのである。習志野駐屯地が所在するのは、お隣の船橋市である。では、なぜ「習志野」という名称なのか。

それは、旧陸軍の習志野演習場に由来する。現在の船橋・八千代・習志野・千葉の各市にまたがる広大な習志野演習場の中心地が習志野市であった。現在の習志野市東習志野地区には、廠舎群が立ち並び、現習志野市大久保地区には、騎兵部隊（騎兵第一旅団・騎兵第十三・十四聯隊、騎兵第二旅団・騎兵第十五・十六聯隊）の兵舎群が軒を連ねていた。現在の京成線大久保駅は、軍馬の大量の糧秣の集積のために設けられた駅でもあった。また、現在の習志野市津田沼地区（現JR津田沼駅南口付近）には、鉄道第一聯隊が駐屯し、現在の新京成電鉄の路線は、その鉄道聯隊の訓練線として敷設されたものである。さらに、前述の東習志野地区の廠舎地域は、日露戦争時のロシア兵、第一次大戦時のドイツ兵の捕虜收容所としても使用され、当時のロシア・ドイツ将兵との交流も活発で、現在、習志野市の名物になっている習志野ソーセージは当時のドイツ兵捕虜がもたらしたレシピの産物とのこと。

このように、軍都として栄えた習志野地区ではあるが、戦後は、いわば東京のベッドタウンとして人口を集め、昭和二十九年に市制を敷いたが、自衛隊との交流はさほど活発とも言えず自衛隊尾OBも少なく、隊友会会員も七十名程度の小さな所帯である。隊友会支部としての活動もかつては二十〜三十名が集まっていた懇親会、勉強会を年数回開いた時期もあったが、会員の高齢化に伴い、最近では声をかけても集まってくる会員数が激減し、やや寂しい状況である。その中であって、最近のめばしい活動として

は、平成二十九年の市内某町会連合会の「防災C P X訓練支援」が挙げられる。当該町会連合会对策本部及び各町会自主防災会本部の要員約七十



名を対象に、巨大地震発生から約半日間の一連の災害対処要領の訓練を企画、訓練準備、訓練本番での逐次の状況付与、現場指導などの全てを隊友会習志野支部の総力を挙げて実施し、好評を博したことが記憶に残る。今後とも、「防災」のテーマを通じて、隊友会が地域に貢献できればと念願するものである。

(習志野支部長 柚木 文夫)

◆山武東金支部◆

山武東金支部二代目支部長として、平成十六年に引き継ぎ、依頼十七年になります。隊友会の目的は、国民・地域と自衛隊との架け橋となり、目的は我が国の平和と安全に寄与する事です。

私達は、地域の人達に自衛隊を理解して頂くことに努め、自衛隊が各種の行動を実行する際に、地域住民からの協力が得られるようにすることです。現在の法律では、地域の協力がなければ動けないのが実情です。そのため、私自身普段から地域に溶け込み、地域のボランティア活動をするのに努めています。地域役員への要請があれば受ける。また、町社会福祉協議会の活動には、地域の区長を受けて、依頼十八年間実施しました。横芝光町の自衛隊協力は、親しい友人と二人で平成二十三年に立ち上げ、十年になります。会員も約八十名となり、総会、国防意識の高揚を図ることを目的とする講演会を毎年実施しています。次に、地域で自衛隊の理解を深めるために、重要なことは特別会員を増やすことだと思っっています。このため、地域の市長・町長さん及び県議員さんとの交流を深め、できれば特別会員に入会して頂くことが良いと思います。

山武東金支部の範囲は、三市・三町ありますが、国会議員の森衆議院議員、石井参議院議員、地域の首長では金坂大網白里市長、松下山武市長、佐藤横芝光町長、千葉県議会議員では、阿井県議、石橋県議、実川県議、小野崎県議及び東金市の石田市議にも特別会員に入会して頂き、支部の隊友会活動に協力して頂いています。

私達ができることは、特別会員の選挙活動に当たり、その選挙活動に最大限の協力をする事が大切であると考えています。支部としての主な活動は、ボランティアではないでしょうか。東日本大震災の際には、参加者四名、私有車二台

で食料品等、生活用品を準備して気仙沼市でのボランティア活動に参加しました。また、平成二十七年九月の常総市での水害復旧ボランティアには、九名で参加しました。この際には、川島会員の奥様にも参加していただき、感激しました。その他、支部が参加するボランティア活動は、九都県市防災訓練、千葉県護国神社春、秋大祭前の清掃奉仕作業



には、毎年多くの支部会員に参加して頂いています。今年度の九都県市防災訓練は、大部分が中止となりましたが、山武地域防災備蓄倉庫からの出庫訓練は実施されることになりました。支部としては、以前から防災備蓄倉庫支援連絡網を作

成して、訓練実施の態勢をとっていましたので、参加者を募集したところ、十一名が参加して頂けることになりました。実際に災害が発生したことを想定して訓練に臨みたいと思います。

(山武東金支部長 若梅 友男)